

2013（平成25年）1月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町1-124 埼玉県大宮合同庁舎3階

TEL 048-650-0170 FAX 048-650-0171 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホームページ <http://sainokuni-sasa.or.jp>

新年のごあいさつ

埼玉県知事、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会名誉会長
上田 清司



一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会関係者の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成25年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年、我が国では新たなスタートを切るためのリーダーが誕生しました。しかし国のガバナンスは以前に比べて格段に弱くなっていると感じています。

私は、我が国の様々な問題には生産年齢人口の減少による人口動態の変化と経済のグローバル化による国際競争力の低下という二つの要因があると考えています。

そこで、埼玉県ではこうした大きな変化に対応するための取組を進めています。

まず、地元企業を中心に創エネや省エネなどの取組を行う「埼玉エコタウンプロジェクト」です。さらに、社会保障制度への負担を減らしながら高齢者が新たに活

躍する「健康長寿埼玉プロジェクト」や女性の力を社会や経済の活力につなげる「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」などに取り組んでいます。このように課題を解決し、産業を興し雇用につなげ活力を取り戻すことを意識しています。これまで他国との通商政策は国が中心と考えられていましたが、地方自らが外国政府と直接交渉をすることもできるのです。このため、産業政策を積極的に行うことはもとより、通商産業政策全体に地方が主体的に取り組む、いわば「通商産業政策の地方分権化」が必要だと考えています。

そこで、県ではアジアの活力を積極的に取り込む体制を整備するとともに、日本の優れた技術とシステムを提供することによりアジアの諸問題の解決に貢献し、双方が発展していくという関係づくりを進めていきます。日本の国際特許出願件数と科学技術研究費は世界第2位、対人口比の研究者数は世界一です。日本のポテンシャルはまだまだ高く、これを生かすために地方が様々なことを行い、その成果を目に見える形にして地方同士が競争すべきです。本県では、これまでの枠組みにとらわれず、産業興しと雇用づくりを意識して新たに富を創造する取組に果敢に挑戦し、現状を突破するモデルを構築していきます。埼玉県が日本を引っ張っていく年にするよう各界各層の県民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

スポーツ協会関係者の皆様とは、スポーツを通じた障害者の社会参加を図るとともに、障害者スポーツの更なる振興に取り組んでいきたいと思っております。

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会 会長 塩浦 綾子

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を皆様お揃いでお迎えのこととお喜び申し上げます。謹んで皆様の限りないご多幸とご健勝でのご活躍を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年は、「彩の国ふれあいピック春季大会・秋季大会・球技大会の開催」「全国障害者スポーツ大会“ぎふ清流大会”への参加」また、自主事業として引き続き「出前スポーツ教室」「親子水泳教室」「プロ野球OBクラブ、戸田中央総合病院や浦和学院高等学校野球部の協力による各教室」の開催。大会として「ボッチャ大会」「四面卓球バレー大会」「浦和レッズ・大宮アルディージャカップサッカー大会」等を開催しました。また、新たに「障害のある人とない人がスポーツを通じお互いを理解し合い、支え合う共生社会の実現」を目指すことをコンセプトにフットサルとソフトボールで初めて交流戦を行いました。参加チームの選手からの反響はたいへん大きく、本年もさらに充実した内容でこの大会を継続して開催してまいりたいと考えています。

2011年8月、スポーツ基本法が施行され、全ての人々の権利として「スポーツ権」が認められ、また、基本理念の中で「障害者スポーツの推進」が盛り込まれました。一方で、国・地方自治体には、施策を作り、それを実施する責務を求め、スポーツ団体には、スポーツの推進に主体的に取り組むこととそれに関わる団体や人々が「協働」し、努力することを求めています。

私は、スポーツ基本法制定という大きなうねりの中、さらに強い気持ちと多くの皆様との絆を大切にしながら“多くの皆さんの笑顔に会えますよう”諸事業を積極的に進めてまいります。

本年も引き続き、埼玉県・正会員・賛助会員・特別会員の皆様、指導者・ボランティアの皆様をはじめ障害者のスポーツに関わる多くの皆様の温かいご支援、ご指導を心からお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。



新年の抱負



全国障害者スポーツ大会、彩の国ふれあいピックに参加した選手、スタッフやこの大会を目指す皆様から年頭に当たっての抱負が寄せられました。

笑顔あふれる一年になりますように願いをこめて、ここにご紹介します。（順不同）

埼玉県障害者
サッカー協会
押田 和彦

「明けましておめでとうございます。昨年も様々な大会に参加していただき、誠にありがとうございました。様々な大会等に出場、参加しているチーム、選手の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

今年は、全国障害者スポーツ大会が東京都で開催されます。開催都である東京都は予選を免除され本戦に出場することになります。毎年東京都の出場が有力だったため今年は大きなチャンスだと思います。ぜひ、

今年は予選を突破し全国大会に出場するだけでなく、優勝という大きな目標を目指し頑張りたいと思います。そうすることで一人でも多くの人たちにサッカーの魅力を知ってもらい、サッカーをやってみたいと思う選手を増やしていくことだと思います。今後も、様々な場面で皆様と一緒にサッカーを楽しみたいと思います。今年も宜しくお願いします。」



埼玉県障害者
スポーツ指導者協議会
東南部地域支援連絡会
代表幹事 莊子 敏一

新たなムーブメント

「地方自治体と太いパイプがあるスポーツ推進委員から障害者スポーツ指導員が続々誕生しています。近い将来、その人達が地域支援の柱になっているだろうと思われます。昨年、近隣市町の障害者スポーツ指導員のネットワークを図る県東南部地域支援連絡会が発足しました。連絡会では、首長に障害者スポーツ指導員を認知してもらおうプレゼンテーションを重ねてきました。この2つは、競技団体に所属している障害者から地域に住む障害者全体を対象にする新たなムーブメントになることでしょう。

平成25年は、この2つのスキルを使って地域の障害者スポーツ振興を革命的に発展させていきます。」



埼玉県障害者
フライングディスク協会
理事長 鈴木 英彦

「新年明けましておめでとうございます。フライングディスク協会も今年度で設立12年目を迎えました。これもひとえに皆様方のご支援とご鞭撻の賜物と深く感謝いたしております。さて、フライングディスクの競技ですが、ここ数年競技人口が増大しております。比較的気軽に入り込めるスポーツと言われておりますがいざ実際に体験しますと曲がってしまったり真っ直ぐに飛ばないし中々上達しない。こんな経験が皆様にもあるのではないかと思います。競技の種目もアキュラシー（正確性を競う）やディスタンス（遠投）だけしかなくつまらないと思っはいませんか？ こういった皆さんの声を反映させるため障害者フライングディスク協会では、昨年「フライングディスクを使った遊び」を開催いたしました。希望がありました地域にお邪魔して体験していただいております。第1回目は東松山市で開催し非常に好評でした。本年も引き続き開催いたしますのでご参加をお待ちしております。

最後になりますが、埼玉県障害者スポーツ協会の益々のご発展と皆様方のご健康をお祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。」



埼玉県障害者
バレーボール協会
会長 竹井 彰彦

「新年、明けましておめでとうございます。今年は10年に1度、あるかないかのチャンスの年です。これまで、「宿敵・東京を破っての全国出場」が大目標でしたが、それはさておき、仕事とバレーを両立して頑張っている子ども達を「もう一度、全国へ」と老齢化の進んだコーチ陣も気合いが入っています。

依然として、県内の障害者バレーボール人口は、伸び悩み高齢化も進んでおりますが、運と経験、そして、老練なテクニックがものをいうのもバレーボール。それぞれの協会の皆さん、お互いに頑張っ、是非とも東京で会いましょう。」



新年の抱負

埼玉県障害者

卓球協会

副会長 林 伸一

「明けましておめでとうございます。

近年、老若男女に関わらず障害者・健常者の卓球人口の増加を感じつつ更には、プレーヤー、スタッフ、サ

ポーターボランティアを含め普及していると実感しています。昨年開催された「ロンドンオリンピック」卓球女子団体銀メダル獲得は、良いピーアールになったのではないのでしょうか。

当協会は、卓球教室や審判練習会等で、技の上達や審判員の育成も含め、卓球技術向上に努めています。また、卓球を通して交流を深め、選手同士・選手とスタッフ・スタッフ同士の幅広い人間性の育成・豊かな人生につながられるよう目標に向かって進む一年になることを願います。」



STT : 試合



一般卓球 : 練習

埼玉県障害者

ボッチャ協会

事務局長 布川 英之

「新年明けましておめでとうございます。昨年はロンドンパラリンピックに日本代表選手が出場し活躍したためにテレビや新聞で取り上げられ、多く

の人に「ボッチャ」という競技を知っていただくことができた有意義な1年でした。今年はさらに多くの方々にボッチャに親しんでいただき、一層の普及につなげていきたいと思ひます。

埼玉の選手たちは4年後のリオデジャネイロ出場を目指して練習を行っています。今年は19歳以下の選手を対象とした大会「アジアユースパラゲームス」がマレーシアで行われます。一昨年のボッチャワールドカップ日本代表の奈良淳平選手をはじめ、国際舞台での活躍が期待される若手選手がおりますので応援いただけると大変嬉しいです。本年も昨年同様ボッチャにご注目ください。よろしくお願ひ申し上げます。」



2013年も
“がんばろう！埼玉！！”



フットベースボール

埼玉県チーム

選手 武藤 淳

「来年は全国大会が東京であるのでぜひ関東で優勝して全国大会で東京都チームを倒したいです。たぶんこのチームも優勝を目指しているけれど、それ以上に自分達は頑張っていきたいです。

僕はまだ全国大会に行ったことがないので、来年は全国で強いと聞いている熊本県チームや静岡県チームともどのくらい強いのか、戦ってみたいです。たぶんそのほかにも全国大会に出場するチームは強いチームしかいないと思うので、試合をして勝って、ぜひ日本一になりたいです。

そのためにも、一週間に一回しかない練習を大事にしていきたいと思ひます。練習が無い日も家で出来ることはあるので、それを続けていきたいです。自分は仕事が水曜日休みなので、自分としては今バッティングに力を入れているので練習しておこうと思ひます。次の関東予選までにしっかりレベルアップしたいです。」



埼玉県障害者

アーチェリー協会

会長 福田 孝一

「明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、23年に引き続き素晴らしい成績を収めた平澤奈古選手から報告をしたい

と思ひます。昨年10月26～28日静岡県掛川市つま恋で行われた「第54回全日本ターゲット選手権大会」CP女子個人戦（一般を含む）において3位の成績を収めました。全国から選びぬかれたアーチャーと戦っての成果は本人の努力のたまものと思ひますが私達協会が一番に挙げる大きな出来事です。次に、「第12回全国障害者スポーツ大会」において加藤宏次選手がRC50・30mラウンドで銀メダルを獲得しました。30mでは自己新記録の好成績でした。また、この大会でさいたま市監督として参加した成川雄一さんも高橋選手をささえ頑張っていました。「世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業」に参加した常世駿嗣選手、加藤宏次選手は充実したカリキュラムの中で大きな何かをつかんだようでした。次が楽しみです。

今年目標として交流センターを拠点に選手の育成に努め、全国障害者スポーツ大会への選手やパラリンピックに参加した原口選手、平沢選手に続く選手が養成されるよう協会一丸となって頑張りたいと考えています。





の国トップアスリートからの

新春メッセージ

氏名 50 音順の掲載です。

埼玉県を代表するトップアスリートから新春メッセージをいただきました。
今シーズンもトップアスリートからのメッセージを胸に頑張りましょう！！

大宮アルディージャ GK 背番号 21 江角 浩司 選手

「新年明けましておめでとうございます。
大宮アルディージャの江角浩司です。
昨シーズンは目標としていた勝点50には届きませんでしたが9月以降、無敗でリーグ戦を終えることができました。
ただ結果には満足していませんし、2013シーズンはより高いレベルで、良い成績が出せるよう日々の練習から取り組んでいきたいと思えます。
そして、同じサッカーを、スポーツを愛する皆さんに、勇気や感動を与えられるよう頑張ります。
今シーズンもご声援のほどよろしくお願いいたします。」



浦和レッドダイヤモンズレディース 加藤 千佳 選手



「みなさん、新年あけましておめでとうございます。
浦和レッズレディースの加藤千佳です。
私にとって2012年は、スタメンもメンバー入りもメンバー外も全部経験して、色々考えることが出来た良い年でした。
チームとしては決めるところを決められず、勝ちきれない試合が多く苦しいシーズンでもありました。
来年は監督が変わって、レッズレディースのサッカーが変わる年になると思いますが、レギュラーをつかみ取り、プレーでもそれ以外でもチームに貢献し、タイトルを目指したいです。
スポーツは観ても楽しく、やっても楽しいです。みんなで思いを共有できる素晴らしいものだと思います。私もレッズレディースで一生懸命頑張ります。みなさんも一緒に闘ってください。」

埼玉西武ライオンズ #1 栗山 巧 選手

【今年の抱負】

「昨年シーズンは、たくさんのご声援をいただきありがとうございました。
県民の皆さまの応援をパワーに、今シーズン終了時には喜びを分かち合えるよう、チーム一丸となり頑張っています。
今年も、埼玉西武ライオンズに、皆さまの熱いご声援をよろしくお願いいたします。」

【スポーツに取り組むみなさまへ】

「スポーツを心から楽しみながら、さまざまな分野にチャレンジしてください。
そして、スポーツを通じて得た自信をパワーに、夢の実現に向かって、日々の努力を重ね、ご活躍されることを心から期待しております。
埼玉西武ライオンズ選手一同も皆さまと共に頑張っています。」



埼玉栄高等学校 土井 杏南 選手

「新年明けましておめでとうございます。埼玉栄高等学校の土井杏南です。昨年は、私自身ずっと夢であり、目標であったロンドンオリンピックにリレーの第一走者として出場することができました。実際に走ってみて改めて世界との差を肌で実感し、これからさらにがんばっていかねばならないと思いました。

今年は、昨年の自分を越えて行けるように常に自分の走りを追求していきたいと思います。そして、また、世界の舞台に挑戦することができるように日々頑張ります。そして、陸上を通じてたくさんの人に笑顔や勇気、感動を与えられるような選手になりたいと思います。これかも応援よろしくお願いします。」



浦和レッドダイヤモンドズ 原口 元気 選手



©浦和レッズ

「みなさん、新年あけましておめでとうございます。

浦和レッズの原口元気です。

2012年は、自分にとって「変化」の年でした。新しくミハイロ・ペトロヴィッチ監督が就任し、今までとは違うフォワードというポジションを務めました。監督、選手、サポーターなど周りの方々の期待になかなか応えることができず納得できるような結果が出せない悔しい一年でした。

ですが、毎日の練習から一生懸命プレーし、日々の積み重ねが大切であると信じて、一步一步前に進んで行った一年でもありました。

2013年の目標はもちろん「優勝」です。今年はチームを優勝に導けるような活躍をしたいと思っています。必ず優勝して、ファン・サポーターの皆さんと喜びを分かち合えるようにがんばりますので、応援よろしくお願いします。」

慶應義塾大学 競走部 山縣 亮太 選手

(昨年の実績)

日本選手権 陸上男子100m 第3位
2012 ロンドンオリンピック 陸上男子100m 準決勝進出
男子4×100m リレー 5位入賞

(新年の抱負)

来年は世界陸上がモスクワで開催されます。そこで日本人男子の悲願である100m決勝進出と、さらなる自己記録の更新を視野に入れています。

「競技を突き詰めていく中で、私が大切だと感じてきたことに素直さがあります。素直さとは人を尊重し認め、習うことのできる力で、それは成長していけばいくほどに見失いやすいものです。なぜなら、強くなり、実績を重ねるほど、自分の積み上げてきた過去のものを「正しいもの」として感じ、それゆえ他人の理解しがたいものに関してはその「正しさ」を疑いたくなるからです。昨年11月、埼玉県障害者の陸上競技の合宿に参加させて頂いた際、私は選手、コーチの皆さんの暖かさ、素直さに驚き、うれしくなりました。僕の話の聞いたり積極的にアドバイスを求めてくる姿勢から「世界を目指すアスリート」という高い目標を、曇りなく信じ、きっと叶えるだろう強さの源を感じ、同じ世界を目指す競技者として大きな刺激を受けました。競技者として強くなる、また人として成長する上で人とのつながりはとても大切です。一人では強くなれません。周りの人を大切にしながらその素直さをもってたくさんのことをこれからも得て欲しいと、そして僕自身ももっと成長したいと思います。お互いこれからもがんばりましょう！」



戸田中央総合病院女子ソフトボール部 山崎 泰稔 監督

「新年明けましておめでとうございます。昨年もソフトボール教室にお招きいただきまして本当にありがとうございました。昨年、私たち戸田中央総合病院女子ソフトボール部は、目標であった日本リーグ1部での上位進出こそ達成はできませんでしたが、10勝12敗第9位という、7年ぶり2桁勝利を挙げることができました。これも日頃より多くの皆様にご支援、ご声援をいただいた賜だと思っております。今年も日本リーグ1部での上位進出という目標に向かってチーム一丸となり、日々練習に励み、さらなるレベルアップに努めてまいります。スポーツに取り組む障害者の皆様には、スポーツを通して様々な方と交流を深め、スポーツの楽しさをともに分かち合い、これからも一緒に取り組んでいけたらと思っております。今後、皆様の活躍と更なる向上を期待しております。本年も変わらぬご支援、ご声援のほど宜しくお願い申し上げます。」



寒風を吹き飛ばす温かい教室となりました

平成24年11月18日（日）、戸田中央総合病院女子ソフトボール部を講師にお招きし、春日部市立武里中学校のグラウンドにおいて選手52名の参加のもと「ソフトボール教室」を開催しました。

この教室は、埼玉県における知的障害者のソフトボール競技における選手のレベルアップ、競技人口・底辺の拡大等を目的に開催しております。今年で5回目となった教室には、知的障害者ソフトボールチーム、会場である武里中学校のソフトボール部、春日部共栄高等学校ソフトボール部、白岡高等学校ソフトボール部の参加をいただきました。

開講式では、戸田チーム山崎泰稔監督からご挨拶をいただいたあと、平成24年度日本女子ソフトボールリーグ1部において新人賞を受賞した村井美保選手に、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会松本洋副会長からコバトンのぬいぐるみが贈呈されました。

教室では、スローイング、キャッチボールの基本について学んだあと、戸田チームの投げる球を参加者が打つという「戸田チームに挑戦」を行い、ヒットが出るたびに歓声が上がり、盛り上がった雰囲気の中教室は終了しました。



川口市立幸並中学校第2学年 総合的な学習の時間

ウィルチェアーラグビー選手・監督と交流

平成24年11月27日（火）、川口市立幸並中学校第2学年「総合的な学習の時間」が実施され、ウィルチェアーラグビーの監督・選手7名が講師として一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会スタッフ2名がサポートスタッフとして参加しました。

この日講師としてご協力いただいたのは、ロンドンパラリンピックウィルチェアーラグビー日本代表監督の岩淵典仁氏、同日本代表選手岸光太郎氏、島川慎一氏、ウィルチェアーラグビーチーム「BLITZ」から生方亮馬氏服部出雲氏、「AXE」から菊池宏明氏、峰島靖氏の7名。

授業は、岩淵監督による「ウィルチェアーラグビーの概要」「パラリンピックについて」などの講話からはじまり、生徒から選手への質問コーナー、選手たちによるデモンストレーションのあと、「競技用車いす体験」をおこないました。競技用車いす体験では、生徒8名（女子チーム、男子チームに分かれて2回対戦）対選手2名の”鬼ごっこ”をおこない、時間内に選手をつかまえることができるか挑戦しました。初めはなかなか選手を追い詰めることができませんでしたが、岩淵監督から作戦を伝授された後は、チームプレーで見事選手をつかまえることができ、2度目に対戦した男子チームには選手を増員し、生徒8名対選手4名で対戦するなど、盛り上がった展開となりました。最後に生徒からお礼の言葉があり、授業は終了となりました。



平成24年度 臨時社員総会・第2回理事会

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会平成24年度臨時社員総会、第2回理事会を平成24年12月15日（土）、彩の国すこやかプラザにおいて開催しました。

(1) 審議事項

- | | |
|--------|----------------------------------|
| 議案第8号 | 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会定款の変更について |
| 議案第9号 | 平成24年度収支中間決算について |
| 議案第10号 | 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会事務局給与規程の改正について |
| 議案第11号 | 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会会員の入会承認について |

上記4議案が上程され、慎重審議の結果、全議案が承認されました。

(2) 協議事項

- ①一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会の公益財団法人埼玉県体育協会への加盟について

(3) 報告事項

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| ①第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」について | ②平成24年度彩の国ふれあいピック秋季大会について |
| ③平成24年度ふれあい地域振興事業について | ④世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業について |
| ⑤ロンドンパラリンピックについて | |



白球を追って深い交流！

ナガセケンコーカップ第1回彩の国ふれあいハート&スマイルソフトボール大会を12月2日（日）さいたま市浦和軟式球場において開催しました。

今大会は初めて障害者のチームと健常者のチームが対戦する形式を取り入れ、障害者のチーム4チーム、シニアチーム2チーム、レディースチーム2チーム、計8チームが参加しました。

開会式では一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会重田博副会長が主催者挨拶を述べ、ナガセケンコー株式会社牧野公保様から一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会松本洋副会長にナガセケンコーカップ優勝杯、埼玉県障害者ソフトボール協会山下晴巳会長に準優勝杯が贈られました。その後、参加選手を代表してさいたま市の野口秋男主将が力の入った選手宣誓を行いました。

試合は、予選リーグから白熱した試合が繰り広げられ、決勝戦は東京都対大宮レインボーズの対戦となり、みごと大宮レインボーズが熱戦を勝ち抜きました。試合後に行う表彰では対戦相手チームが優秀選手を選ぶ方法を取り入れ、発表時には試合結果に関係なく両チームに笑顔があふれ、受賞者には盛大な拍手が送られました。



大会結果

優勝 大宮レインボーズ
準優勝 東京都
第3位 さいたま市



彩の国ふれあいボッチャ大会

ひまわり会上位独占（競技部門）

宮代・蓮田大健闘（交流部門）

平成24年度彩の国ふれあいボッチャ大会を平成24年12月8日（土）埼玉県立武道館主道場において開催しました。

試合は予選リーグから白熱した試合が繰り広げられ、7試合が同点でタイブレークにもつれ込む展開となり、競技部門はひまわり会B、交流部門は宮代プリンスが熱戦を勝ち抜きました。

大会結果



【競技部門】

優勝 ひまわり会B
準優勝 ひまわり会D
第3位 ひまわり会C

【交流部門】

優勝 宮代プリンス
準優勝 宮代I・O・N
第3位 蓮田特別支援学校



彩の国ふれあいピックサッカー大会

チーム桜A、うらわSC連覇

平成24年度彩の国ふれあいピックサッカー大会を平成24年12月9日（日）16日（日）、さいたま市荒川総合運動場サッカー場において開催しました。

チャンピオンシップの部5チーム、フレンドシップの部13チームの計18チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

今大会で選考された選手で結成される埼玉県チームは、今年10月に開催される「第13回全国障害者スポーツ大会スポーツ祭東京2013」の予選会である関東ブロック地区予選会に出場し、全国大会出場を目指します。



大会結果

【チャンピオンシップの部】

優勝 チーム桜A
準優勝 FC埼玉RED
第3位 FCパラダイス

【フレンドシップの部】

優勝 うらわSC
準優勝 春日部特別支援学校
第3位 新座ネクストFC





平成24年12月1日(土)全日本アマチュア野球連盟から、ティーボールセット一式とボール50個をご寄付いただきました。

ティーボールは、1988年

国際野球連盟(IBA)と国際ソフトボール連盟(ISF)が野球とソフトボールの普及を目的に考案した球技で、小さな子どもから高齢者まで楽しむことのできる楽しい球技です。

12月4日(火)早速、ご寄付いただいたセットを使って埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校においてティーボール教室を開催しました。

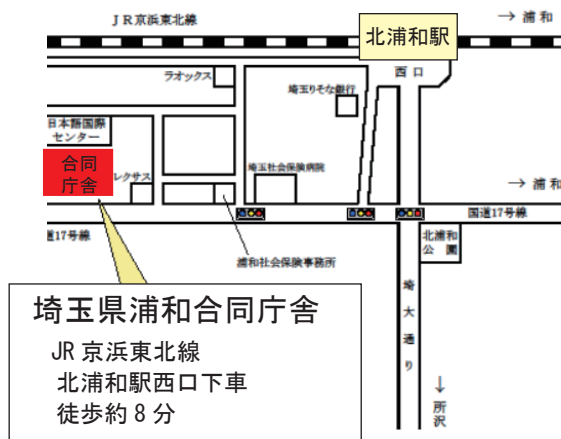
(写真)ティーボールセット一式とボール50個が、埼玉県野球協会東泉嘉一専務理事から一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会松本洋副会長に贈られました

当協会事務所が移転します!

- 平成25年4月1日から、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会の事務所が下記住所に移転します。
詳細は、当協会ホームページ (http://sainokuni-sasa.or.jp) 等でお知らせします。

〒330-0074

埼玉県さいたま市浦和区北浦和五丁目6番5号
埼玉県浦和合同庁舎3階



賛助会員・特別会員の皆様

○賛助会員(平成25年1月7日現在) 団体会員 72団体、個人会員 94名

(順不同、敬称略)

【団体会員】

- 青木信用金庫
曙ブレーキ工業株式会社
生駒硝子株式会社
株式会社 ウチダオート
エーザイ株式会社
株式会社 エフエムナックファイブ
株式会社 中央印刷社
金子物産株式会社
川口信用金庫
関東自動車株式会社
共栄企画株式会社
クラブILO
株式会社 グリーン企画社
越谷市精神障害者を守る会(やまびこ家族会)
埼玉グラフ株式会社
社会福祉法人 埼玉県身体障害者福祉協会
埼玉縣信用金庫
埼玉県知的障害児者生活サポート協会
社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
埼玉県発達障害福祉協会
さいたま商工会議所
財団法人 埼玉新聞社会福祉事業団
埼玉トヨペット株式会社
埼玉りそな銀行

- 斎藤工業株式会社
彩の国SPグループ
サイボー株式会社
有限会社 さか田
澤田ダイカスト工業株式会社
株式会社 JTB 関東法人営業埼玉支店
株式会社 シカクラ
株式会社 島村工業
株式会社 昭和工業
株式会社 新研設備工業
株式会社 住田光学ガラス
太平ビル管理株式会社
株式会社 タナベ建設
秩父鉄道株式会社
長生館
積田冷熱工事株式会社
有限会社 ティエムエステート
株式会社 デサン
デジコム株式会社
株式会社 テレビ埼玉
東京機器サービス株式会社
東彩ガス株式会社
東神システム株式会社
株式会社 トーシンパートナーズ

- 永山建設株式会社
日酸 TANAKA 株式会社
日本信号株式会社
株式会社 ニューオタニ
ネットヨタ東埼玉株式会社
株式会社 パーパス
株式会社 ピックルスコーポレーション
株式会社 帆足ビジネス・コンサルタント
北辰図書株式会社
前田印刷株式会社 筑波支店
前田食品株式会社
三国コカ・コーラボトリング株式会社
ミズノ株式会社 大宮営業所
ムサシノ機器株式会社
株式会社 武蔵野銀行
株式会社 メイコー・明高堂
明治神宮崇敬会浦和支部婦人部
株式会社 八木橋
八千代工業株式会社
山三電機株式会社
株式会社 ヨコハマタイヤジャパン
株式会社 ヨコハマタイヤセンター関東
株式会社 リサイクルアシスト
株式会社 和幸製作所

【個人会員】

- 石川 大介 斎藤 信治 関口 博 戸井原 章 中村 幸子 福島 英雄 山下 利明
兼子 章 齋藤 博 高荷 匡史 長嶋 健一 萩原 洋幸 船岡 富美子
川島 健司 椎橋 宗利 土屋 雅子 中村 幸一 福島 暁子 宮澤 裕子

○特別会員(平成25年1月7日現在) 県内60市町村

(順不同)

- 川越市 飯能市 羽生市 蕨市 久喜市 坂戸市 白岡市 滑川町 東秩父村 神川町
熊谷市 加須市 鴻巣市 戸田市 北本市 幸手市 伊奈町 嵐山町 横瀬町 上里町
川口市 本庄市 深谷市 入間市 八潮市 鶴ヶ島市 三芳町 小川町 皆野町 寄居町
行田市 東松山市 上尾市 朝霞市 富士見市 日高市 毛呂山町 ときがわ町 長瀨町 宮代町
秩父市 春日部市 草加市 志木市 三郷市 吉川市 越生町 川島町 小鹿野町 杉戸町
所沢市 狭山市 越谷市 桶川市 蓮田市 ふじみ野市 鳩山町 吉見町 美里町 松伏町